

**「超高齢社会に対応した地域包括ケアシステムの推進」****1. 基本理念**

地域包括ケアシステムとは、高齢者が出来る限り慣れ親しんだ地域で自分らしい生活を継続することができるように介護、医療、生活支援等といった包括的な支援・サービスの提供体制を構築することを指します。

名張市の高齢化率は、過去にベッドタウン化による急激な人口流入があり、全国平均と比較しても急速に進む現状にあります。その中で、高齢者のみで構成される単身や夫婦のみの世帯等が増えるとともに、日常生活の多くの場面で支援が必要となります。それにより、福祉サービスの需要も年々増す中で、ニーズの多様化に対応できる施策の推進や市内の各地域の実情に応じた対応等、住み慣れた地域で生きがいをもって生活を続けられる体制整備が急務となっています。

これまで、名張市では高齢者が住み慣れた我がまちで安心した生活が継続できるように介護予防、認知症ケア、医療や介護・福祉との連携、地域生活支援を柱に施策を進め、地域包括ケアシステムの構築に努めてきました。今後は「超高齢社会に対応した地域包括ケアシステムの推進」のため、高齢者を取り巻く環境や地域体制等を検証しながら施策展開を図っていきます。また、このシステム推進のために必要な高齢者が安心して暮らせる「住まい」という部分についても重点事項に掲げ取り組みます。

本計画（平成27年度から平成29年度まで）は、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる平成37年（2025年）を見据え、中長期的な視野に立ちこれまでの施策を踏襲しつつ、高齢者の生活課題に対応出来る施策の展開を進めるとともに、次の4つの政策目標の実現に向け取り組みます。

**2. 政策目標****（1）だれもが生き生きと輝く元気な暮らしづくり**

高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らし続けられるよう、地域づくりや生涯学習など、地域における様々な活動への参加を促進します。また、高齢者が年齢や性別にとらわれず、その能力を存分に発揮し、社会の担い手として活躍できるような生涯現役のまちづくりの整備を進めます。合わせて、高齢者がいつまでも元気に暮らし、これらの活動を継続するため、健康づくりや介護予防の充実に取り組みます。

**（2）ともに支え合う心豊かなまちづくり**

地域の実情に応じて、地域住民をはじめとする多様な主体が協働し、創意工夫を凝らした様々な支え合いができるような体制整備を支援し、住民相互に支えあう互助・共助の仕組みを構築します。

### **(3) 安心な暮らしを支える仕組の充実**

高齢者やその家族の生活を支えるために身近な場所での相談窓口のほか、介護保険制度等に関する情報を正確かつ分かりやすく提供できる体制を整備します。

また、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続することによって生じる多様な支援のニーズに応えるため、公的な介護サービスのほか、住民をはじめとした多様な主体による解決する仕組みを構築します。さらに、高齢者の権利を擁護するための仕組みや体制を整え、安心な暮らしを支えます。

### **(4) 自立を支援するより質の高い福祉サービスの提供**

高齢者の自立を支援するため、本人や家族の希望や状況に応じ、身近な地域で適切な介護サービスが受けられるよう地域密着型の介護サービス基盤を充実するとともに、介護保険サービスの提供基盤を整備します。合わせて、住み慣れた地域で質の高い暮らしが継続できるよう、医療サービスと介護サービスの適切な連携に取り組みます。また、介護サービスの質の向上を図るため、情報公開の推進、職員研修の充実などの取組を促進します。